

No.126

2025

4

April

しあわせ

編集・発行 一宮町社会福祉協議会

発行回数 年3回



一宮町つくも会齋藤嘉明理事(中央)が第64回千葉県老人クラブ大会にて、活動功労表彰を受賞されました。
(写真は齋藤繁美会長(右)と共に馬淵町長へ報告した様子)

5年ぶりに動き出した 地域のつながり

住 所 一宮町一宮1865 電 話 0475-42-3424
E-Mail ichinomiya-shakyo@topaz.ocn.ne.jp

赤十字活動資金への ご協力をお願いします

日本赤十字社が行う災害救護活動、心肺蘇生・AED等講習普及などの様々な人道的活動は、皆さまからお寄せいただく活動資金によって支えられております。活動のさらなる拡大のため、毎年5月・6月を「赤十字運動月間」と位置づけ、活動資金募集強化に取り組んでいます。本年も皆さまのご理解・ご協力をお願いいたします。

【お問い合わせ】

日本赤十字社千葉県支部
TEL:043-241-7531
URL:<https://www.chiba.jrc.or.jp>



令和6年度 赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金実績報告

たくさんのまごころありがとうございました!!

赤い羽根共同募金 2,001,416円			歳末たすけあい募金 769,451円		
*募金別内訳 (令和7年2月末現在)			*募金別内訳 (令和7年2月末現在)		
内 訳	件数	金額(円)	内 訳	件数	金額(円)
戸 別 募 金	2,970	1,471,405	戸 別 募 金	3,049	610,583
学 校 募 金	5	55,999	法 人 募 金※3	2	65,503
法 人 募 金※1	64	428,000	職 域 募 金	1	9,346
職 域 募 金	2	11,550	個 人 募 金※4	2	33,729
個 人 募 金※2	1	20,000	団 体 募 金※5	1	50,290
イベント募金	2	9,321	合 計	3,055	769,451
募金箱	1	5,141	※3 法人寄付者芳名		
合 計	3,045	2,001,416	藤井 敦様		20,000円
※2 個人寄付者芳名			高瀬 忍様		13,729円
藤井 敦様		20,000円	※4 個人寄付者芳名		
※募金箱設置店芳名			匿名		29,758円
ツルハドラッグ 上総一ノ宮店		5,141円	立正佼成会		35,745円
※1 法人寄付者芳名 (敬称略)			※5 団体寄付者芳名		
一宮町金融団	30,000円	一宮町サーフィン業組合	10,000円	金澤輪業	3,000円
伊勢化学工業(株)	20,000円	白石管工事(株)	10,000円	桶庄トーヨー住器(株)	3,000円
片岡工業(株)	20,000円	(株)長生ビル管理	5,000円	(有)一宮鉄工所	3,000円
清水医院	20,000円	(有)マツオ産業	5,000円	千葉トーハツ商会	3,000円
秋場医院	20,000円	セブンイレブン上総一宮店	5,000円	(株)松屋呉服店	3,000円
岡田眼科医院	10,000円	(株)泰組	5,000円	(株)角八本店	3,000円
よねもと整形外科	10,000円	(有)三共興業	5,000円	魚平商店(有)	3,000円
藤島クリニック	10,000円	(有)エー・エム・プラスチック	5,000円	くるまやラーメン一宮店	3,000円
長島医院	10,000円	古山接骨院	5,000円	(有)内山住設	3,000円
一宮館	10,000円	(有)東金屋	5,000円	やまき自動車整備工場	3,000円
ホテル一宮シーサイドオーツカ	10,000円	(株)小関工業	5,000円	(株)メディカルファーマシーミキ薬局一宮店	3,000円
(株)せんだう	10,000円	(株)山長	5,000円	(株)ホンダカーズ埼玉中	3,000円
K・Iクリニック	10,000円	(有)大場モータース	3,000円	北村写真商会(有)	2,000円
とみさわ歯科クリニック	10,000円	タカラ鮮魚店	3,000円	塚本総業株式会社	2,000円
ダスキン千葉	10,000円	斉藤接骨院	3,000円	一宮製作所(株)	2,000円
小関食品(有)	10,000円	(有)小畑運送店	3,000円	(有)亀屋	2,000円
市原歯科医院	10,000円	東葉電設(株)	3,000円	(有)安モータース	1,000円
一宮町商工会	10,000円	(有)双立電機	3,000円	(株)音羽屋	1,000円
(有)釜屋燃料店	10,000円	(有)薦田鉄工所	3,000円	ミネシマ家具店(有)	1,000円
宇井歯科医院	10,000円	(有)荒留商店	3,000円	つくも整骨院一宮院	1,000円
東日総業(株)	10,000円	一宮町乗馬センター	3,000円		
(株)一の宮カントリー倶楽部	10,000円	大洋薬局一宮店	3,000円		

花の姿や、色、香りによって人の心は花やぎ、元氣にもなれます。5地区で開催される敬老の集いも、地域にあった内容で、大きな輪を広げて行く様が、伺われます。三県で山火事が発生、民家等にも被害が加わり、明日は我が身と、考えずにはいられません。社協でも『避難所運営を考える』をテーマに、避難所と避難場所の違いを学び、災害に備えた訓練を経験、体験、出来た事と思います。皆様も是非参加して下さい。

渡邊年子

編集後記

令和7年度社会福祉協議会会計予算 (単位：円)			
収 入		支 出	
会費収入	1,825,000	人件費支出	69,423,000
寄付金収入	133,000	事業費支出	11,180,000
経常経費補助金収入	30,485,000	事務費支出	7,038,000
受託金収入	22,595,000	貸付事業支出	100,000
貸付事業収入	100,000	助成金支出	1,630,000
事業収入	146,000	負担金支出	61,000
介護保険事業収入	27,572,000	積立資産支出	664,000
障害福祉サービス等事業収入	5,825,000	その他の活動による支出	2,382,000
受取利息配当金収入	13,000	予備費	913,000
その他の収入	226,000	当期末支払資金残高	1,000
前期末支払資金残高(繰越金)	4,292,000		
合 計	93,212,000	合 計	93,212,000



私はだれでしょう？(西部)



これから体操始めますよ(北部)

共有しました。閉会では「来年もまた元氣にお会いしましょう」を合言葉に盛況のうちに開催となりました。その後にはカラオケ、コーラス、くじ引き等を行い、楽しい時間を共有しました。閉会では「来年もまた元氣にお会いしましょう」を合言葉に盛況のうちに開催となりました。その後にはカラオケ、コーラス、くじ引き等を行い、楽しい時間を共有しました。

大橋 静雄



今号では、町内5地区社会福祉協議会の内3地区社協の敬老のつどいの様子をご紹介します。(その他2地区については、前号にて掲載済)



さあ、東浪見甚句！(東浪見)

北部地区社協「敬老のつどい」は、去る11月22日、町長馬淵昌也様、町社協会長吉野繁徳様を迎え、一宮館を会場に開催されました。参加者は宮原、船頭給、新地の三地区併せて70有余名、関係者を含め総勢1000有余名にて執り行われました。開会に続き主催者、来賓の挨拶を頂き、「結婚50周年記念事業」の記念品贈呈が行われました。この日「11

月22日」は、まさに、「いい夫婦の日」でした。続いての、いきいき健康フォーラムは健康アドバイザー、サーフィン音頭は参加者が一丸となつて踊りました。昼食を挟みながら、『モアニ フラ』『ウクレレバンド ラウレア』共演のフラダンスと生演奏を堪能しました。その後はカラオケ、コーラス、くじ引き等を行い、楽しい時間を共有しました。閉会では「来年もまた元氣にお会いしましょう」を合言葉に盛況のうちに開催となりました。その後にはカラオケ、コーラス、くじ引き等を行い、楽しい時間を共有しました。



おいしいね



あと少しでできあがり

福辺 隆

5年ぶりの再会 喜び合う笑顔と共に

コロナのためしばらく休んでいて5年振りに開催されたふれあい昼食会でした。そのせいもあってか久しぶりの再会を喜び合う声が、笑顔とともにあちらこちらから伝わってきました。招かれたお年寄りの中には杖や車いすを頼る方もいましたが周りの人々の手助けや思いやりで、楽しそうに過ごしていました。催し物も数ある中で、楽しみは何と言つてもお弁当で、おかずも豊富、とてもおいしいもので皆さんに喜んでいただけたと思います。特にお弁当を作っていたボランティアの皆さんには、誠にお疲れ様でした。その他のボランティアも初体験の者もいる中で、経験者の適格な指示の下で皆で協力して上手く進められたと思います。今年もまた皆さんとお元氣でお会いしたいと思っています。



美声にうっとり

11月28日、第39回ふれあい昼食会が中央公民館の大会議室にて開催されました。5年ぶりにイベント型で行われ、当日は46名の75歳以上のお一人暮らしの方に参加をいただきました。



どこがいいですかね

またグループワークでは、参加者の皆さんが架空の小学校の近隣住民で、臨時に発足した避難所運営委員のメンバーとなり、学校関係者が来ておらず役場からも職員が、駆けつけることも出来ない状況を想定し、避難所に見立てた平面図を使用し、限られた空間や資源をどのように使うか、様々な突発事項にどう対応するかなど、意見を活発に出し合い避難所運営に対する対応力を養う研修会となりました。

長谷川 恵利

避難所が開設された際、 スムーズに活動ができるように

駆けつけた人や
限られた資源を
どのように
振り分けるか

研修会では、避難所と避難場所の違いや過去の地震災害での避難所の様子を参考に、避難所運営のポイントを学びました。



こっちのほうがいいんじゃない？

令和6年12月11日、一宮町地域防災計画に記載されている避難所の開設・運営の考えに基づき、いつ起こるか分からない災害に備え、避難所が開設された際にスムーズに活動が出来るよう「避難所運営を考える」をテーマに一宮町避難所運営研修会を企画しました。公益財団法人S.I.災害ボランティアネットワークの天寺純香常務理事をお迎えしボランティア(手話通訳者含む)、自主防災会、防災士の合計31名の皆さんが、参加されました。

もし災害があった時 訓練のことを思い出して

令和7年2月22日一宮町社会福祉協議会を会場に一宮町災害ボランティアセンターの機能や役割を学ぶ事を目的に開催しました。災害ボランティアセンターは、大規模災害の際に、一宮町から要請を受けて一宮町社会福祉協議会が立ち上げを行います。この訓練は、一宮町地域防災計画に位置付けられている災害ボランティアセンターの機能や役割を学ぶ事を目的に開催しました。



この訓練が役に立ちますように

この訓練は、一宮町地域防災計画に位置付けられている災害ボランティアセンターの機能や役割を学ぶ事を目的に開催しました。災害ボランティアセンターは、大規模災害の際に、一宮町から要請を受けて一宮町社会福祉協議会が立ち上げを行います。



さあ、行きましょう

訓練に参加された皆さんが、災害ボランティアセンターが立ち上がった際、被災地内外から駆け付けたボランティア

アと被災された方の困りごとをボランティアに繋ぐ役割がある事を知って頂き、もし災害があった際には訓練の事を思い出して困っている人が居たら「災害ボランティアセンターに問い合わせてみたら。」と声を掛けてみてください。今回の訓練では、運営側とボランティア側に分かれて行いました。

運営側の方には、受付班・マッチング班・送り出し班・資機材班に分かれボランティアに來た方を被災地に派遣する流れを確認しました。ボランティア役の方には、被災地支援に來たボランティアがどういう流れで活動を行うのかを知って頂くのと共に運営側の対応等を見ていただき各班の役割を確認していただきました。今回の訓練で多くの反省点や改善点が見え次回以降の訓練に活かしていきたいと思ひました。

吉野 瑠依